

コンテンツの

取引市場形成について



～放送コンテンツ取引市場形成に係る検討課題について～

1 これまでの議論

(1) 諸外国と日本

英・韓・米等諸外国 = 一定のルールによる市場創出

↓↑

我が国 = 民間活力を最大限に活用した市場創出

(2) 背景

放送制度に係る考え方の相違

→「公共放送主体」と「民間放送主体」

→「あまねく普及」と「市場における競争」 等

2 今後の検討課題

(1) 「放送コンテンツ取引市場形成」の前提

「制作主体の多様化、制作主体間の競争」

「放送コンテンツに係る権利処理コストの処理の在り方」

(2) 「制作主体の多様化」等

→ 「「放送ネットワーク」を持つ放送事業者による番組制作」と、「独立の番組製作者による番組制作」との間での、合理的な競争環境の整備

(資金調達、番組制作への参加、契約条件 等)

→ 「トライアル」によって、民間活力による取引市場形成を検証。「トライアル」の基本ルールが重要。

(3) 「権利処理コスト」等

→ 「取引市場形成」の上で最も重要な課題は、「放送コンテンツの権利処理と、そのコストの処理」

→ 「IP放送」など、新たなメディアによる市場の立ち上げの主体となる者が、コストの負担者となり得るか否か？

→ 「権利処理」に必要な情報DBは、一定の範囲の者が活用可能なビジネス・インフラとして構築できるか？